

清水建設株式会社の

シンプルメディカルのご案内

家族特約付無配当団体医療保険（先進医療特約・がん特約・入院一時金特約）

お申し込み受付：2026年11月5日（木）まで（効力開始日：2027年1月1日）

※加入や増額のお申し込みは、年に1回この機会だけです。

シンプルメディカルの特長

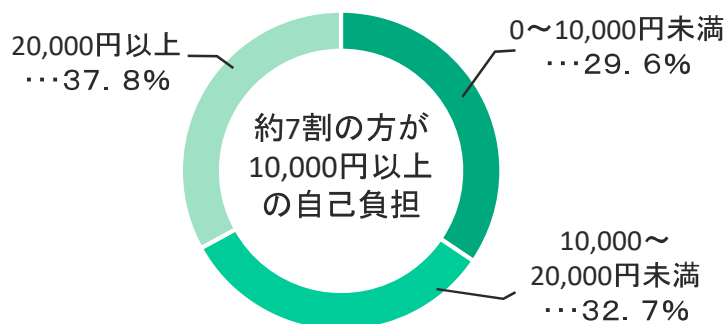
1	医師の診査は不要です。簡単な健康状態の申告（告知）で加入できます。
2	加入しやすい保険料で、日帰り入院※から入院給付金をお支払いします。 ※日帰り入院とは、医療法に定める患者を入院させるための施設を有する病院または診療所での入院を対象とし、入院日と退院日が同一の日であり、かつ、入院基本料のお支払いがある場合などをいいます。
3	入院一時金特約やがん特約を付加することにより、幅広い保障が得られます。
4	先進医療特約も付加が可能です。※保険料は一律87円です。
5	1年更新の保険ですので、毎年、入院給付金日額等の見直しができます。 ※増額や特約を付加する場合は告知が必要です。
6	Web画面から入力するだけで、簡単にお申し込みできます。

お申し込みにあたっては、事前に「特に重要なお知らせ（契約概要）（注意喚起情報）」を必ずご確認ください。

【DATA】

●入院時の自己負担額

入院時の1日あたりの自己負担額は、
平均24,300円



●先進医療に係る技術料

先進医療費は全額自己負担
となります！

【がん治療の技術料例】

陽子線治療	約278.0万円
重粒子線治療	約318.9万円

※技術料は1件あたりの平均費用
※厚生労働省第149回先進医療会議「【先進医療A】令和7年6月30日時点における先進医療に係る費用」より朝日生命が試算
※「重粒子線治療」「陽子線治療」は適応症によって公的医療保険制度の対象となるものがあります。
※上記は2026年8月時点において厚生労働大臣が定める先進医療として行われるものの一例です。

※治療費・食事代・差額ベッド代に加え、交通費（見舞いに来る家族の交通費も含む）や衣類・日用品代などを含む。
高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額。

（公財）生命保険文化センター「2025（令和7）年度 生活保障に関する調査」

お問い合わせ先

（株）ミルックス 保険部
電話：03-3563-2861

引受保険会社：朝日生命保険相互会社

基本保障：入院給付金

日帰り入院
でも！※2

けがや病気で入院した場合、「入院給付金日額×入院日数」を給付※1。
入院給付金日額は、以下からご選択ください。

・3,000円 ・5,000円 ・10,000円

※1 入院給付金は、1入院60日限度、通算では1,000日限度です。

※2 日帰り入院とは、医療法に定める患者を入院させるための施設を有する病院または診療所での入院を対象とし、入院日と退院日が同一の日であり、かつ、入院基本料のお支払いがある場合などをいいます。

【月額保険料例】 入院給付金日額5,000円の場合

加入年齢	男性	女性
20～24歳	570円	715円
25～29歳	700円	875円
30～34歳	850円	995円
35～39歳	1,060円	985円
40～44歳	1,335円	1,085円
45～49歳	1,225円	1,335円
50～54歳	1,800円	1,250円
55～59歳	2,100円	1,585円

詳細な保険料、各特約の保険料は
次ページをご参照ください。
ご希望の加入プランの保険料は
入力画面でご確認いただけます。

オプション①：入院一時金特約

日帰り入院
でも！※2

入院日数に関わらず、1回の入院※3につき、**入院一時金 5万円**を給付。
入院した場合の初期費用や入院中の手術の費用に役立ちます。

※3 2回以上入院したときでも、それぞれの入院の原因となったけがや病気が同一か医学上密接な関係がある場合は、1回の入院とみなします。ただし、退院日の翌日から180日を超えて開始した入院は、新たな入院とみなします。

オプション②：先進医療特約

厚生労働大臣が定める**先進医療**を受けた場合の治療費(技術料)と同額を給付※4。
高額になりやすく、かつ全額自己負担である先進医療に備えます。
保険料は、性別・年齢を問わず一律87円です。

※4 歯科治療を除きます。また、先進医療給付金の1回のお支払額は500万円限度、通算では2,000万円限度です。

オプション③：がん特約

上皮内がん
でも！

がんで入院した場合、**がん入院給付金 1日当たり5,000円**を給付※5。
がんと診断された場合、**がん診断給付金50万円**を保障します。
(1年に1回限度の複数回支払い)

※5 がん入院給付金は、1入院60日限度、通算では1,000日限度です。

保障額と月額保険料

次表を参考に主契約の入院給付金日額や各特約の加入を決定してください。

加入する際の合計保険料(家族分を含みます)は、Web申込画面で確認できます。

※保険料の単位は「円」です。また、加入年齢は2027年1月1日現在の満年齢で判定します。

保障内容		主契約			入院一時金 特約	がん特約	先進医療 特約	合計 （【主契約 5,000円＋ 3つの特約】 の場合）
		入院給付金日額			入院一時金	がん入院給付金 日額5,000円	先進医療 給付金	
		3,000円	5,000円	10,000円	5万円	がん診断給付金 50万円	先進医療 見舞金	
加入年齢		円	円	円	円	円	円	円
男 <								

女 性	15～19歳	303	505	1,010	305	230	87	1,127
	20～24歳	429	715	1,430	435	230	87	1,467
	25～29歳	525	875	1,750	670	230	87	1,862
	30～34歳	597	995	1,990	735	550	87	2,367
	35～39歳	591	985	1,970	580	895	87	2,547
	40～44歳	651	1,085	2,170	555	1,535	87	3,262
	45～49歳	801	1,335	2,670	650	1,785	87	3,857
	50～54歳	750	1,250	2,500	575	1,895	87	3,807
	55～59歳	951	1,585	3,170	750	2,485	87	4,907
	60～64歳	1,212	2,020	4,040	760	2,980	87	5,847
	65～69歳	1,524	2,540	5,080	1,010	3,205	87	6,842
	70～74歳	2,070	3,450	6,900	1,390	3,245	87	8,172
	75～79歳	2,622	4,370	8,740	1,775	3,340	87	9,572

子ども（1人当たり） ※性別・年齢問わず一律	429	715	1,430	530		87	1,332
---------------------------	-----	-----	-------	-----	--	----	-------

※子どもは、がん特約に加入できません。子どもの合計欄は、がん特約を含んでいません。

※保険料は、男女別で5歳刻みの年齢ごとに変更となります。子どもの保険料は、年齢・性別で異なることはありません。

主契約である入院給付金日額のコース、特約付加の選択により保険料が変わります。

※家族とともに加入される方の保険料は、本人分と家族分保険料の合計となります。

※上表の保険料は、本人の加入者数規模が299名以下の場合です。人数規模により正規保険料との間に差額が生じた場合には、初回(更新月)に遡って精算いたします。

※がん特約の加入日からその日を含めて3か月間の不担保期間(保障がされない期間)中はがん特約の保険料をお支払いいただく必要はありません。したがって、がん特約の保険料は、この特約への加入後4月目からお支払いいただきます。

給付金等のお支払いについて(保障内容)

お支払いする給付金等		お支払事由	お支払いする金額	お受取人
(家族特約) 主契約	入院給付金	被保険者が保険期間中に、次のすべてを満たす1日以上入院をしたとき(日帰り入院※1を含みます。) ①責任開始期以後に発生した傷害または疾病を直接の原因とする入院 ②傷害または疾病の治療を目的とする入院 ③病院または診療所における入院	入院給付金日額×入院日数 (1入院60日限度、 通算1,000日限度)	本人(主たる被保険者)※4
	入院一時金	被保険者がこの特約の保険期間中に、責任開始期以後に生じた不慮の事故による傷害または疾病を直接の原因として主契約の入院給付金が支払われる入院を開始したとき	定められた入院一時金額 (1入院1回限度、 通算30回限度)	
先進医療特約	先進医療給付金	被保険者がこの特約の保険期間中に、次のすべてを満たす療養を受けたとき ①この特約の責任開始期以後に発生した傷害または疾病を直接の原因とする療養 ②公的医療保険制度における先進医療による療養 (歯科※2のみで実施することが定められているものを除く。)	1回の療養につき、先進医療の技術に係る費用と同額 (支払限度は、1回の療養について500万円、通算2,000万円)	
	先進医療見舞金	被保険者がこの特約の保険期間中に、先進医療給付金が支払われる療養を受けたとき	1回の療養につき、先進医療給付金の支払額の10%相当額	
がん特約	がん入院給付金	被保険者がこの特約のがん責任開始期※3以後この特約の保険期間中に、次のすべてを満たす1日以上入院をしたとき(日帰り入院※1を含みます。) ①この特約のがん責任開始期※3前を含めて初めてがんと診断確定されていること ②この特約のがん責任開始期※3以後に診断確定されたがんの治療を直接の目的とする入院 ③病院または診療所への入院	がん入院給付金日額×入院日数 (1入院60日限度、 通算1,000日限度)	
	がん診断給付金	被保険者がこの特約のがん責任開始期※3以後この特約の保険期間中に、次のすべてに該当したとき ①この特約のがん責任開始期※3前を含めて初めてがんと診断確定されていること ②がんと診断確定されたとき	定められたがん診断給付金額 (1年に1回限度の複数回支払)	

※1 日帰り入院とは、医療法に定める患者を入院させるための施設を有する病院または診療所での入院を対象とし、入院日と退院日が同一の日であり、かつ、入院基本料のお支払いがある場合などをいいます。

※2 歯科とは、「歯科」「歯科口腔外科」「矯正歯科」「小児歯科」をいいます。

※3 がん責任開始期とは、がん特約の保障が開始される日をいいます。がん特約は、がん特約の加入日からその日を含めて3か月を経過した日(不担保期間)の翌日から保障が開始されます。

※4 がん特約を申し込む場合は、代理請求特約がセットで付加されます。代理請求特約が付加された場合には、給付金等の受取人である被保険者に請求意思能力がないとき、または病名告知を受けていないとき等に、所定の代理請求人が、被保険者に代わって給付金等を請求することができます。

<主契約(家族特約)>

- 入院給付金のお支払いが通算してお支払限度日数の1,000日に達したときは、自動的に脱退となります。
- 2回以上の入院をし、それぞれの入院の原因となった傷害または疾病が同一か医学上密接な関係がある場合は、1回の入院とみなします。ただし、退院日の翌日から180日を超えて開始した入院は、新たな入院とみなします。

<入院一時金特約>

- 入院一時金のお支払いが通算して30回に達したときは、入院一時金特約は消滅します。
- 2回以上の入院をし、それぞれの入院の原因となった傷害または疾病が同一か医学上密接な関係がある場合は、1回の入院とみなし、入院一時金をお支払いします。ただし、退院日の翌日から180日を超えて開始した入院は、新たな入院とみなし、入院一時金をお支払いします。
- 無配当団体医療保険における入院一時金特約の加入額は、同一被保険者につき通算20万円限度となります。

<先進医療特約>

- お支払対象となる「先進医療による療養」とは、療養を受けた時点において、健康保険法等に定める公的医療保険制度における評価療養のうち、厚生労働大臣が定める先進医療として行われる療養をいい、先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限りします。
 - ・先進医療はその医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状等)があらかじめ決められています。
 - ・先進医療の対象となる医療技術やその適応症、実施している病院等は、変更されることがあります。最新の情報については、厚生労働省のホームページにて一覧をご確認いただくことができます。ただし、一覧に記載のある医療技術であっても、その治療方法や症例等によっては先進医療に該当しない場合もありますので、治療を受けられる前に主治医に必ずご確認ください。(注)例えば、医療技術の名称が同一であっても、厚生労働大臣が定める施設基準に適合しない病院等で受けた場合や、決められた適応症に合致しない場合(美容整形など)は、お支払いの対象となりません。
- <療養>とは、診察、薬剤または治療材料の支給、および処置、手術その他の治療をいいます。
- <先進医療の技術に係る費用>とは、被保険者が受けた先進医療に対する被保険者の負担額として、病院または診療所によって定められた金額をいいます。
- 次の場合には、先進医療給付金をお支払いしません。
 - ①先進医療の技術に係る費用が「0」となる療養
 - ②「先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準」において、歯科※のみで実施することが定められている先進医療による療養※歯科とは、「歯科」、「歯科口腔外科」、「矯正歯科」、「小児歯科」をいいます。
- 先進医療給付金のお支払いが通算して2,000万円に達したときは、先進医療特約は消滅します。
- 同一の傷害または疾病を直接の原因として、同一の先進医療による療養を複数回にわたって一連の療養として受けたとき、その療養を1回の療養とみなします。この場合、一連の療養を最初に受けた日にその療養を受けたものとみなします。
- ご加入後、この特約の保険期間中に、新たに先進医療の対象となった医療技術はお支払いの対象となります。一方、ご加入時点で先進医療の対象であった医療技術であっても、療養を受けた日現在において、一般の保険診療に導入されている場合(公的医療保険制度の対象となっている場合)や、承認取消等の事由によって先進医療ではなくなっている場合は、お支払いの対象とはなりません。
- 法令改正等による公的医療保険制度等の改正や医療技術または医療環境の変化が、先進医療特約のお支払事由に影響を及ぼすときは、朝日生命は、主務官庁の認可を得て、将来に向かってお支払事由を変更することがあります(変更日の2か月前までにご契約者へご連絡します)。
- 先進医療特約の加入は同一被保険者について1件限りとなります。
既に朝日生命の他の先進医療特約にご加入いただいている方は、この特約にはご加入いただけません。

<がん特約>

- がん入院給付金のお支払いが通算してお支払限度日数の1,000日に達したときは、がん特約は消滅します。
- 2回以上のがん入院給付金のお支払いに該当する入院をし、それぞれの入院の原因となったがんが同一か医学上密接な関係がある場合は、1回の入院とみなします。ただし、退院日の翌日から180日を超えて開始した入院は新たな入院とみなします。
- がん診断給付金は、1年に1回を限度として、複数回お支払いします。
最終のがん診断給付金のお支払事由に該当した日から、その日を含めて1年以内に新たながん(原発病巣、再発・転移したがんを含みます)と診断確定された場合にはお支払いしません。
注:がん診断給付金が支払われた最終の支払事由該当日からその日を含めて1年を経過した日の翌日に、がんの治療を直接の目的とする継続入院中の場合、その日に新たながんと診断確定されたものとみなします。
また、がん診断給付金が支払われた最終の支払事由該当日からその日を含めて1年を経過した日の翌日以後に、がんの治療を直接の目的として入院した場合、その入院開始日に新たながんと診断確定されたものとみなします。
- がん責任開始期より前にかんがんと診断確定されていた場合(被保険者がその事実を知らない場合も含みます)は、がん特約は無効となり、がん入院給付金、がん診断給付金のいずれもお支払いしません。

制 度 の お 取 り 扱 い

加入者の範囲 (年齢は全て2027年1月1日時点のもの)	本人…役員・従業員で正常に勤務している69歳以下の方(更新して継続される場合は79歳以下の方)。 家族…本人(主たる被保険者)と同一戸籍に記載されている配偶者、およびそのこどもで、健康に生活している方。配偶者は69歳以下(更新して継続される場合は79歳以下)、こどもは22歳以下の方。 ※加入者が加入資格を喪失した場合(退職等)、当制度から脱退となります(家族も同様に脱退となります)。 ＜家族のお取り扱い＞ ○配偶者・こどもだけのご加入はできません。 ○配偶者・こどもの入院給付金日額は本人と同額またはそれ以下とします。 ○こどもを加入させる場合は、上記に該当するこどもは全員同額の入院給付金日額で加入させてください。 ただし、入院一時金特約と先進医療特約の加入については、こどもそれぞれ任意ですので、こども毎に、加入の有無を選択してください。
保険期間	2027年1月1日～2027年12月末日までの1年間で、以後お申し出がなければ、更新のお申し出があったものとして毎年自動更新されます。 ただし、更新時の加入者数等により、被保険者の意思に関係なく更新されない場合があります。
保険料	2027年1月から給与天引きされます。
受取人	本人(主たる被保険者) ※加入者(被保険者)が本人・配偶者・こどもいずれの場合も同じ。
配当金	この保険は無配当保険(剰余金の分配のない保険)ですので、配当金のお支払いはありません。

ご意向確認(チェック)について

【ご意向(保障ニーズ)確認のお願い】

- ・ この保険は、病気やけがによる所定の入院の保障を主な目的とする保険期間1年の生命保険です。
- ・ お申し込みにあたっては、本Webパンフレット(「特に重要なお知らせ(契約概要)(注意喚起情報)」を含みます)の記載内容を必ずご確認ください、保障内容、保険料、給付金日額、保険期間等がご自身のご意向に沿った内容となっていることを必ずご確認ください。

お申し込みいただく保険の内容がご自身のご意向に沿った内容となっていることをご確認ください。

☐ 保障内容はご意向に沿った内容となっていますか？

☐ お申し込み内容(保険料、給付金日額、保険期間等)はご意向に沿った内容となっていますか？

※上記内容を確認したうえで、Web申込画面にて加入・増額のお申し込みをするとき、確認ボタンをチェックしてください。

給付金等のご請求について

家族特約付無配当団体医療保険
(先進医療特約・がん特約・入院一時金特約)

- 給付金等のお支払事由（保険事故）が生じた場合だけでなく、お支払いの可能性があると思われる場合や、ご不明な点が生じた場合等についても、すみやかに株式会社ミルックス 保険部までお申し出ください。
- ご請求のお手続きにつきましては、すべて株式会社ミルックス 保険部を通じて行っていただきます。
- 給付金等のお支払いにあたっては、給付金等のお支払事由（保険事故）が生じた月の保険料のお払い込みが必要となります。

給付金等をお支払いできる場合、お支払いできない場合の具体的事例について

以下の各事例は、給付金等をお支払いできる場合またはお支払いできない場合の具体例を、ご参考としてあげたものです。

【事例1】入院給付金のお支払い（告知義務違反による解除）

お支払いできる場合	お支払いできない場合
「慢性C型肝炎」での通院の告知をせずに加入したが、半年後に「慢性C型肝炎」と全く因果関係のない「胃がん」で入院した場合	「慢性C型肝炎」での通院の告知をせずに加入し、半年後に「慢性C型肝炎」で入院した場合
解説	
被保険者の故意または重大な過失によって事実を告知しなかった場合や、事実と異なる内容を告知した場合には、契約は解除となり入院給付金はお支払いいたしません。ただし、告知義務違反の原因となった事実と、入院給付金のお支払事由との間に因果関係がない場合にはお支払いします。	

【事例2】入院給付金のお支払い（お支払限度日数の超過）

お支払いできる場合	お支払いできない場合
「大腸がん」で60日間入院し、退院から200日後に再び同じ「大腸がん」で40日間入院した場合、1回目の入院は60日分、2回目の入院は40日分お支払いします。	「大腸がん」で60日間入院し、退院から100日後に再び同じ「大腸がん」で40日間入院した場合、1回目の入院は60日分お支払いしますが、2回目の入院は1回目と通算される結果、お支払日数の限度（60日）を超過することになるので、お支払いできません。
解説	
この保険では、1回の入院に対してお支払いできる入院給付金のお支払限度日数は60日と定められていますので、その日数を超えた部分の入院はお支払いの対象となりません。また、2回以上の入院をし、それぞれの入院の原因となった傷害または疾病が同一か医学上密接な関係がある場合は、1回の入院とみなします。 ただし、退院日の翌日から180日を超えて開始した入院は新たな入院とみなしますので、それぞれの入院がお支払限度日数の限度内でお支払いの対象となります。	

【事例3】がん診断給付金のお支払い

項 目	内 容
最終のがん診断給付金のお支払事由に該当した日から、その日を含めて1年を経過した日の翌日以後、新たながんと診断確定された場合	そのがんの診断確定に対するがん診断給付金をお支払いします。
最終のがん診断給付金のお支払事由に該当した日から、その日を含めて1年を経過した日の翌日に、がんの治療を直接の目的とする継続入院中の場合	その日に新たながんと診断確定されたものとみなして、がん診断給付金をお支払いします。
最終のがん診断給付金のお支払事由に該当した日から、その日を含めて1年以内に新たながんと診断確定された場合	そのがんの診断確定に対するがん診断給付金をお支払いします。

見落としがちなご請求事例について

次にあげる事例は、見落としがちな事例です。ご請求の際には、以下の事例に該当する可能性がないかご確認ください。万一、該当すると思われる事例がある場合は、株式会社ミルックス 保険部にお申し出ください。

- ①複数の契約に加入しているが、1つの契約だけ請求し、他の契約の請求をしていない。
- ②入院途中にそれまでの入院の請求はしたが、その後退院までの入院の請求をしていない。
- ③先進医療による療養を受けたが、先進医療給付金および先進医療見舞金の請求をしていない。

※お支払いにはいくつかの条件があります。詳細につきましては株式会社ミルックス 保険部までお尋ねください。

給付金等をお支払いできない場合について

次のような場合には、給付金等をお支払いできないことがあります。

●約款に定める以下の免責条項のいずれかに該当した場合

- ・保険契約者の故意または重大な過失(※1)
- ・被保険者の故意または重大な過失(※1)
- ・被保険者の犯罪行為
- ・被保険者の精神障害を原因とする事故
- ・被保険者の泥酔の状態を原因とする事故
- ・被保険者が法令に定める運転資格を持たないで運転をしている間に生じた事故
- ・被保険者が法令に定める酒気帯び運転またはこれに相当する運転をしている間に生じた事故
- ・被保険者の薬物依存
- ・地震、噴火、津波または戦争その他の変乱(※2)

※1 家族特約に加入されている場合には、その主契約の給付金受取人の故意または重大な過失によるときにも給付金等のお支払いはできません。

※2 該当被保険者の数の増加が、この保険の計算の基礎に及ぼす影響が少ない場合には、朝日生命保険相互会社は、その程度に応じ、給付金等の全額を支払い、またはその金額を削減して支払うことがあります。

●告知いただいた内容が事実と相違していたため「告知義務違反」として保険契約の全部またはその被保険者の部分が解除された場合

個人情報のお取り扱いについて

この保険の運営にあたっては、清水建設株式会社は加入対象者(被保険者)の個人情報(氏名、性別、生年月日、住所、電話番号、健康状態等){以下、個人情報}を取り扱い、清水建設株式会社が保険契約を締結する朝日生命保険相互会社へ提出いたします。清水建設株式会社は、この保険の運営において入手する個人情報を、本保険の事務手続きのため使用いたします。

朝日生命保険相互会社は受領した個人情報を、下記のために利用(注)します。

- 各種保険契約のお引き受け、ご継続・維持管理、保険金・給付金等のお支払い
- 関連会社・提携会社を含む各種保険商品・金融商品・サービスのご案内・ご提供、ご契約の維持管理
- 生命保険会社業務の情報提供・運営管理、市場調査、商品・サービスの開発・研究

また、朝日生命保険相互会社は清水建設株式会社に上記目的の範囲内で提供します。なお、今後、個人情報に変更等が発生した際にも、引き続き清水建設株式会社および朝日生命保険相互会社においてそれぞれ上記に準じ個人情報が取り扱われます。

(注)保健医療等の機微(センシティブ)情報については、保険業法施行規則により、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる目的に利用目的が限定されています。

申し込みの際ご記入いただいた「住所・電話番号」に担当者(生命保険募集人)が連絡させていただく場合があります。

特に重要なお知らせ(契約概要)

無配当団体医療保険

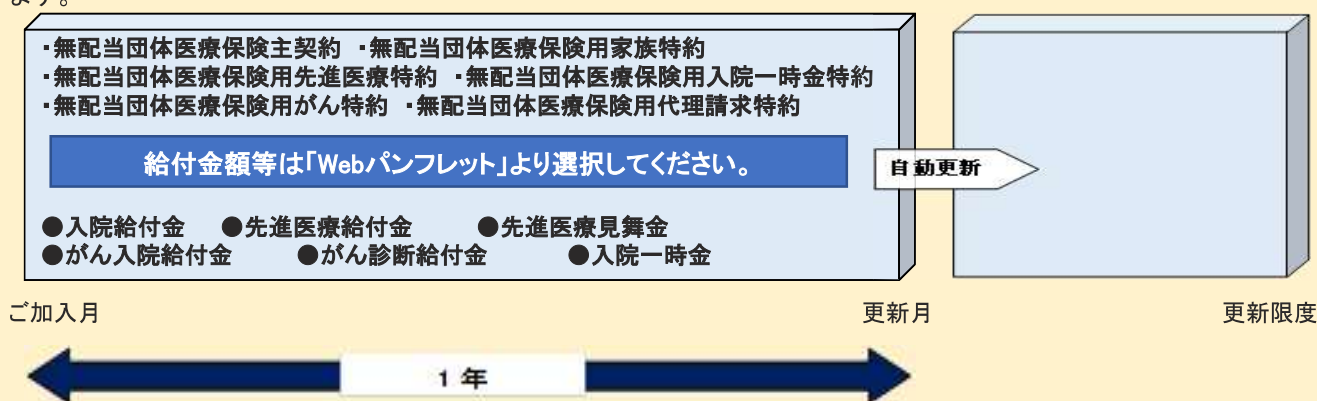
■ 意向確認(お申し込み前のご確認) ■

この「特に重要なお知らせ(契約概要)」は、ご加入内容等に関する重要な事項のうち特にご確認いただきたい事項を記載しています。お申し込み前に必ずお読みいただき、内容をご確認・ご了解のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。お申し込みの際は、具体的なご加入内容が表示されている「Webパンフレット」および「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」にて、保障内容、保険料、入院給付金日額、保険期間等がご自身のご意向に沿った内容となっていることを必ずご確認ください。

1. 商品名称 無配当団体医療保険用先進医療特約付がん特約付入院一時金特約付家族特約付無配当団体医療保険

2. この保険契約の特長について

企業・団体の従業員・所属員等の方について、病気やけがによる所定の入院等の保障を確保するため、団体を契約者として運営する団体保険商品です。保険期間は1年ですが、更新により一定年齢まで継続してご加入いただくことができます。



3. 保険期間について

- ・保険期間は1年間ですが、特段のお申し出がないかぎり、毎年自動的に更新されます。
- ・具体的な保険期間・更新の限度につきましては「Webパンフレット」の該当箇所をご確認ください。

4. 保障内容について

・「入院給付金」は、加入日(責任開始日)以後に生じた傷害または疾病を直接の原因とし、保険期間中に治療を目的として病院または診療所に1日以上入院をした場合(日帰り入院を含みます)にお支払対象となります。なお、お支払限度は1入院につき60日であり、通算お支払限度の1,000日を超えた場合、保障は消滅します。

※ 日帰り入院とは、医療法に定める患者を入院させるための施設を有する病院または診療所での入院を対象とし、入院日と退院日が同一の日であり、かつ、入院基本料のお支払いがある場合などをいいます。

・「先進医療給付金」は、加入日(責任開始日)以後に生じた傷害または疾病を直接の原因とし、保険期間中に公的医療保険制度における先進医療による療養をした場合(歯科のみで実施することが定められているものを除く)にお支払対象となります。

なお、お支払限度は、先進医療の技術に係る費用と同額で1回の療養につき500万円であり、通算お支払限度の2,000万円に達した場合、先進医療特約は消滅します。

※ お支払対象となる「先進医療による療養」とは、療養を受けられた時点において、健康保険法等に定める公的医療保険制度における評価療養のうち、厚生労働大臣が定める先進医療として行われる療養をいい、先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限り、厚生労働大臣が定める先進医療は、随時見直しされます。

・「先進医療見舞金」は、先進医療給付金がお支払される療養を受けられた場合にお支払対象となります。

※ 1回の療養につき、先進医療給付金の支払額の10%相当額となります。

・「がん入院給付金」は、がん特約のがん責任開始期以後に初めてがんと診断確定され、この特約の保険期間中に治療を目的として病院または診療所に1日以上入院をした場合（日帰り入院を含みます）にお支払対象となります。なお、お支払限度は1入院につき60日であり、通算お支払限度の1,000日を超えた場合、この特約は消滅します。
※がん責任開始期とは、がん特約の保障が開始される日をいいます。がん特約は、がん特約の加入日からその日を含めて3か月を経過した日（不担保期間）の翌日から保障が開始されます。

・「がん診断給付金」はがん特約のがん責任開始期以後に初めてがんと診断確定された場合にお支払対象となります。

・「入院一時金」は、加入日（責任開始日）以後に生じた傷害または疾病を直接の原因とし、保険期間中に治療を目的として病院または診療所に1日以上入院をした場合（日帰り入院を含みます）にお支払対象となります。なお、お支払限度は1入院につき1回であり、通算お支払限度の30回を超えた場合、入院一時金特約は消滅します。

●給付金等のご請求は、団体（ご契約者）経由で行っていただく必要がありますので、給付金等のお支払事由が生じた場合だけでなく、お支払いの可能性があると思われる場合や、ご不明な点が生じた場合等についても、すみやかに団体窓口にご連絡ください。

●給付金等をお支払いできない場合につきましては、「特に重要なお知らせ（注意喚起情報）」をご確認願います。

●無配当団体医療保険用代理請求特約により、給付金等の受取人である被保険者に請求意思能力がないとき、または病名告知を受けていないとき等に、所定の代理請求人が被保険者にかかわって給付金等を請求することができます。

5. 保険料について

保険料は、毎年更新時にご加入状況・ご加入者（被保険者）の年齢に基づき、保険契約ごとに算出し変更します。また、お支払方法、お支払経路等につきましては「Webパンフレット」の該当箇所をご確認ください。

●主契約（本人）、家族特約（配偶者）および先進医療特約を除く各特約の保険料は男女別で5歳刻みとなります。

●保険料は5歳刻みのため最長で5年、最短で次回更新時に変更になります。

6. 脱退による返戻金について

この商品には脱退による返戻金はありません。

7. 配当金について

この商品には配当金はありません。

8. 引受保険会社

この保険契約は、朝日生命保険相互会社を引受保険会社とする無配当団体医療保険です。

朝日生命保険相互会社 本社：〒160-8570 東京都新宿区四谷1-6-1

9. 苦情・ご相談窓口について

この保険契約に関する苦情・ご相談につきましては、団体（ご契約者）もしくは以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞朝日生命保険相互会社 団体保険専用窓口 TEL:0120-382-156

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00（祝日、年末年始を除きます。）

10. 生命保険協会における「生命保険相談所」について

この商品に係る指定紛争解決機関は（一社）生命保険協会です。（一社）生命保険協会の「生命保険相談所」では、電話・文書（電子メール・FAXは受け付けておりません）・来訪により生命保険に関するさまざまな相談・照会・苦情をお受けしております。また、全国各地に「連絡所」を設置し、電話にてお受けしております。

（ホームページアドレス<https://www.seiho.or.jp/>）

なお、生命保険相談所が苦情のお申し出を受けたことを生命保険会社に連絡し、解決を依頼した後、原則として1か月を経過しても、契約者等と生命保険会社との間で解決がつかない場合については、指定紛争解決機関として、生命保険相談所内に裁定審査会を設け、契約者等の正当な利益の保護を図っております。

特に重要なお知らせ(注意喚起情報)

無配当団体医療保険

■ 意向確認(お申し込み前のご確認) ■

この「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」は、ご加入のお申し込みの際に特にご注意ください事項を記載しております。お申し込み前に「Webパンフレット」および「特に重要なお知らせ(契約概要)」とともに必ずお読みいただき、内容をご確認・ご了解のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

お支払事由および制限事項の詳細やご加入内容に関する事項その他詳細につきましては、「Webパンフレット」の該当箇所を必ずご参照ください。

告知に関する重要事項

以下の事項は、告知を行う際の重要事項ですので、告知を行う前に必ずご確認ください。

また、告知に関する重要な事項は、同時に加入される配偶者や子どもがおられる場合には、全員に内容を周知いただきますようお願いいたします。

1. 健康状態等について、加入申込者ご本人が有りのままを告知してください(告知義務)。

現在および過去の健康状態等について、ありのままをお知らせいただくことを告知といい、加入申込者ご本人には告知をしていただく義務があります。生命保険は、多数の人々が保険料を出しあって、相互に保障しあう制度です。そのため初めから健康状態の良くない方等が無条件に加入された場合、保険料負担の公平性が保たれません。

ご加入のお申し込みにあたっては、過去の傷病歴(傷病名・治療期間等)、現在の健康状態等について「Web申込画面」や「申込書兼告知書」で朝日生命保険相互会社(以下、朝日生命)がお尋ねすることについて、事実をありのままに正確にもれなく、お知らせ(告知)してください。

2. 朝日生命の職員、契約者等の職員等は告知をお受けできる権利(告知受領権)はなく、口頭でお話しされても告知をいただいたことにはなりません。

告知をお受けできる権利(告知受領権)は朝日生命が有しております。朝日生命の職員(営業職員・コールセンター担当者等)・契約者等の職員等は告知をお受けできる権利はなく、口頭でお話しされても告知をいただいたことにはなりません。告知をされる場合は「Web申込画面」で行うか、「申込書兼告知書」をご提出ください。

3. 傷病歴があった場合にも、全てのお申し込みをお断りするものではありません。

生命保険会社では、ご契約者間またはご加入者間の公平性を保つために、お身体の状態すなわち給付金等のお支払いの発生リスクに応じた引受対応を行っております。傷病歴がある場合でも、その内容によってはお引き受けすることがあります。ただし、この保険においては、「Web申込画面」や「申込書兼告知書」の質問事項が1つでも「はい」となる場合はお引き受けできません。

4. 告知義務に違反された場合、保険契約の全部またはその被保険者の部分は解除させていただき、給付金等をお支払いできないことがあります。

告知いただくことからは、「Web申込画面」や「申込書兼告知書」に記載してあります。もし、これらについて、故意または重大な過失によって、事実を告知されなかったり、事実と違うことを告知された場合、「告知義務違反」として保険契約の全部またはその被保険者の部分が解除されることがあり、給付金等が支払われない場合があります。この場合、既に払い込まれた保険料については、返金いたしません。

※なお、上記の場合以外にも、ご加入時の状況等により、給付金等が支払われない場合があります。

例えば、現在の医療水準では治療が困難または保険事故発生率の極めて高い疾患の既往症・現症等について故意に告知をされなかった場合等、告知義務違反の内容が特に重大な場合、詐欺による取り消しを理由として、給付金等をお支払いできないことがあります。この場合、責任開始日からの年数は問いません。(告知義務違反による解除の対象外となる1年経過後にも取り消しとなる場合があります。また、取り消しとなった場合には既に払い込まれた保険料については返金されません。)

5. 朝日生命の職員・代理店等がおお客様の告知に際し、事実を告知することを妨げたり、あるいは事実と違うことを告知するよう勧めることはありません。

告知にあたり、朝日生命の職員・代理店等が、告知をすることを妨げた場合、または告知をしないことや事実でないことを告げることを勧めた場合には、朝日生命は保険契約の全部またはその被保険者の部分を解除することはできません。ただし、こうした行為がなかったとしても、ご契約者または被保険者が、朝日生命が告知を求めた事項について事実を告げなかったかまたは事実でないことを告げたと認められる場合には、朝日生命は保険契約の全部またはその被保険者の部分を解除することができます。

ご加入にあたっての重要事項

1. お申し込みの撤回(クーリング・オフ制度)について

この商品は、団体を契約者とする保険契約であり、被保険者となられる方のご加入のお申し込みにはクーリング・オフの適用はございません。ご加入に際しては内容を十分ご確認ください。ご検討のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

2. 責任開始期について

- 「Web申込画面」で入力いただいた内容、または、ご提出された「申込書兼告知書」に基づき、朝日生命がご加入を承諾した場合、朝日生命は所定の「加入日」から保険契約上の責任を負います。ただし、がん特約の責任開始期は、この特約の加入日から加入日を含めて3か月を経過した日の翌日からとなります。
- 朝日生命の職員・代理店等には保険へのご加入を決定し、責任を開始させるような代理権はありません。

3. 給付金等をお支払いできない場合について

次のような場合には、給付金等をお支払いできないことがあります。

- 告知をいただいた内容が事実と相違していたため、「告知義務違反」として保険契約の全部またはその被保険者の部分が解除された場合
- 加入資格のない方が加入していたこと、あるいは加入資格を喪失していたことが判明して、保険契約の被保険者の部分が無効とされた場合
- 保険契約者または被保険者に詐欺の行為を原因として、保険契約の全部またはその被保険者の部分が取り消しとされた場合、または、保険契約者または被保険者に給付金等の不法取得目的があつて、保険契約の全部またはその被保険者の部分が無効とされた場合
- 保険契約者、被保険者または給付金等の受取人が、給付金等を詐取する目的で事故招致をした場合や、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められた場合など、重大事由に該当し、保険契約の全部またはその被保険者の部分が解除された場合

4. 給付金等のご請求について

- 給付金等のご請求は団体(ご契約者)経由で行っていただく必要があります。給付金等のお支払事由が生じた場合だけでなく、お支払いの可能性があると思われる場合や、ご不明な点が生じた場合等についても、すみやかに団体窓口にご連絡ください。
- お支払事由が発生する事象、ご請求手続き、給付金等をお支払いできる場合またはお支払いできない場合については、「Webパンフレット」にも記載しておりますので、併せてご確認ください。
- 保険金・給付金等のお支払事由が生じた場合、ご加入の内容によっては、複数の保険金・給付金等のお支払事由に該当することがありますので、ご不明な点がある場合等には、すみやかに団体窓口にご連絡ください。

5. 脱退による返戻金について

この商品には、脱退による返戻金はありません。

6. 先進医療特約の重複加入について

この特約の付加は、被保険者おひとりにつき、朝日生命すべての先進医療特約と通算して1件に限ります。

7. 生命保険契約者保護機構について

朝日生命は生命保険契約者保護機構に加入しています。生命保険会社が経営破綻に陥った場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがあります。この場合にもご契約時の保険金額、給付金額、年金額等が削減されることがあります。

詳細については、生命保険契約者保護機構までお問い合わせください。

〔生命保険契約者保護機構〕 Tel: 03-3286-2820 ホームページアドレス: <https://www.seihohogo.jp/>

8. 信用リスクについて

生命保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご加入にあたってお約束した保険金額、給付金額、年金額等が削減されることがあります。

9. 生命保険協会における「生命保険相談所」について

詳細については、「特に重要なお知らせ(契約概要)」の「10.」をご参照ください。